

平成29年度益田市グローバルリーダー養成事業
兼
益田高校SSH事業海外研修（報告）

今年度から海外研修は益田市グローバルリーダー養成事業として、益田市の事業という位置づけとなりました。市内の公立・私立4校に呼び掛け、将来の益田を担う高校生が11名参加しました。今年度もシマネ益田電子株式会社様に多大なご協力をいただき、充実した研修となりました。

平成30年2月6日（火） シマネ益田電子タイ工場

講義①「海外進出の目的と会社の将来像」 ②「海外で仕事や研究を進めるために必要なこと」
タイ人従業員の方と交流、工場見学

参加者の感想から

「最も印象に残ったのは『日本人だから』『タイ人だから』と区別せず、『一人の人間として』という見方が大切だということです。また「目標を細かく設定し続ける」という仕事に対する姿勢は、高校生の今から見習おうと思いました。」



平成30年2月7日（水） コンケン大学（医学部・農学部・教育学部）

医学部：講義①「コンケン大学医学部について」 ②「コンケン地方の医療の現状」と 施設見学
農学部：農場見学、施設説明、コンケン大学で製造した加工品売店の見学、有機栽培研究の講話など
教育学部：講義①「日本語教育の現状」 ②「タイ人が日本語を学習する動機」と交流、授業見学

参加者の感想から

「益田で普及させたい治療、病院が少ない地域での訪問医療など、益田で活かせるようなアイデアがたくさん湧いてきた。」

「vegetable factoryとmicroorganismを融合した新しい野菜作りを研究してみたい。」

「タイ人は日本語をよく勉強していて、日本人が知らないようなことも知っていた。日本人として恥ずかしくないように、私達ももっと知るべきだと思った。普段は語尾を曖昧にしたまま喋ることがあるけれど、外国人を相手にするとごまかしが効かず最後まではっきり言いきらないと伝わらない。それは日本人相手でも心掛けるべきだと思う。」



平成30年2月8日（木） コンケン大学附属高等学校

日本人学生による発表：①明誠高校「益田市の魅力」 ②益田高校普通科「益田市の課題」
③益田翔陽高校「日本の農業」 ④益田高校理数科「課題研究より」

タイ人学生による発表、昼食交流、スポーツ、校内見学

参加者の感想から

「自分の英語力が低いことに驚いた。タイの高校生は日本の高校生より勉強している。これからもっと頑張りたい。」

「タイ人高校生は英語力も課題研究もレベルが高く、会話するにも自分の英語力の低さを実感。発表ではbiology分野の研究でも、斜方投射のようなphysicsの知識が利用してあり感心した。」



平成30年2月9日（金） バンコク国立博物館



参加者の感想から

「仏教国なので日本と同じ雰囲気を感じるものも多い。壁、天井などの内装も細かく絵が描かれていて見応えのあるものだった。でもどこに行っても金色で、日本とは違う派手な建物・作品にタイらしさ、アジアらしさを感じた。」

平成30年3月3日（土） 「ますだひとづくりフォーラム」にて研修報告（予定）

市民学習センターにて、午前の部で研修報告を行います。後輩である中学生や市民の皆さんに向けて海外での経験を報告することで、将来地元と繋がりを持ち続けようとする意識や地域振興の中心として行動できるリーダー（グローバルリーダー）としての自覚を持ち、次世代にどのようなメッセージを発信してくれるのか楽しみです。

研修中の様子や、タイの風景もスライドで紹介します。ぜひ、世界から見た益田市の魅力や課題を一緒に共有しましょう。

次年度へ向けて

英語を使う機会を増やしたり、タイで活躍しておられる日本人からの講義を増やすなど、より内容を充実させていきたいと思えます。